



2018年9月7日

北朝鮮の実態と今後の予想

－北朝鮮による朝鮮半島非核化発言の狙いと南北統一戦略－

西村金一

軍事・情報戦略研究所長

金正恩委員長の「叔父の張成沢を高射砲で殺害し、実兄の金正男を化学兵器V X剤で公衆の面前で無残に殺害した指導者」という印象を、韓国の文在寅大統領が「平和を求めている、ものわりのいい、人間性溢れる戦略家の指導者」に作り変えた。

韓国の世論調査が、作りかえられたイメージを如実に表現している。

韓国の世論調査会社は4月30日、南北首脳会談を受けた認識の変化を調査した結果、非核化や平和に対する北朝鮮の意思を「以前は信頼していなかったが、今は信頼する」との回答が52.1%だったと発表した。「以前も今も信頼する」との回答は12.6%で、信頼する人が合わせて64.7%に達した。

韓国社会世論研究所所長等が5月8日、国民大1年生を対象にした調査の結果、金委員長のイメージの好転は顕著で、会談前に4.7%にすぎなかった「肯定的」が、会談後は48.3%に伸びた。「否定的」は87.7%から25.8%に後退した。

文在寅政権の動きと韓国国民の反応を見ていると、不気味で恐ろしさを感じる。

6月12日に米朝首脳会談が行われてから、約3ヵ月半が過ぎた。「朝鮮半島の非核化が大きく進展しているのか」、「北朝鮮が核を本格的に廃棄している動きをしているのか」というと、そうではない。最近では、「終戦宣言が先」、「北朝鮮の非核化が先」かが問題になっているが、ポイントは、北朝鮮が非核化を実現する意図があるかどうかだ。

国家安全保障を考える我々として、これからの朝鮮半島の動きを読むには、北朝鮮による「朝鮮半島の非核化」と「南北統一」の2面を見なければならない。そして、まず、ポンコツ兵器と特殊部隊からなる「北朝鮮軍事力の実態」と北朝鮮が行ってきたこれまでの「ならず者国家」を理解して、核・ミサイル開発するために騙してきた戦略を解明し、その延長線上に、北朝鮮による南北朝鮮統一戦略と朝鮮半島の非核化発言を分析して、予測する必要がある。

1. 北朝鮮軍の実態

(1) 軍と通常兵器の能力

北朝鮮軍事力のイメージは

旧式兵器と近代兵器で戦う場合のイメージ

- ・空軍の戦闘
- ・北朝鮮の軍艦がどれほど古いのか
- ・海軍の戦闘
- ・北朝鮮軍がソウルに砲撃すると、どうなるのか

北朝鮮軍の勝ち目（通常兵器）は、特殊部隊

北朝鮮軍は、核とミサイルに依存している。

核とミサイルがあるから、体制の保証ができています

(2) 弾道ミサイルの能力

北朝鮮の弾道ミサイルはどのように進化してきたのか

今後の予想

対艦弾道ミサイルと対艦ミサイルの違い

潜水艦発射弾道ミサイルの能力

(3) 核兵器の能力

2. ならず者国家の実態

(1) ならず者国家の正体

(2) 騙し方がうまい

3. 北朝鮮が言う「終戦宣言（南北融和）」「朝鮮半島の非核化」の狙い

(1) 狙いは、米韓同盟の破棄だ

(2) 合意により在韓米軍や国連軍が撤退すれば

(3) 金正恩は核を離さない

- ・北朝鮮に裏切られた過去
- ・非核化に値する処置とは
 - ①「弾道ミサイルの製造工場と実戦配備基地」
 - ②「核物質の保管とウラン濃縮施設」
 - ③「核爆弾製造施設と保管施設」への

立ち入りを認め、そして、これらの検証を受けつつ爆破して破壊すること

④5MW の黒鉛原子炉を停止し、廃炉にしなければならない。

4. 米朝交渉後の行方

- ・ 北朝鮮の非核化の動きは本物か
 - 核実験場の爆破は
 - 西海発射場の解体は
 - 西海エンジンテスト場の解体は
 - 検証は
- ・ 北朝鮮は核ミサイル開発を継続している
 - ウラン濃縮施設の存在と活動継続中
 - 弾道ミサイル製造が継続中
- ・ 交渉が時間稼ぎに使用されると最悪に。北の核は 50～100 個に

5. 今後の予想

- ・ 非核化を進めない北朝鮮をトランプは我慢するのか
- ・ 近いうちに、米国は北朝鮮に、「非核化を本気で実行するのか」、北朝鮮は米国に、「北朝鮮の体制保証を確実に行うのか」といったやりとりが、トップ会談で行われる可能性がある。
- ・ 交渉の成果もなく、「現実的に非核化が進んでいない」、「北朝鮮が、核やミサイル開発を継続させている」といったことになれば、トランプはどうするのか。
- ・ トランプは、結局、「北朝鮮の核ミサイルを廃棄させられなかった」「3 回目も騙された大統領だ」と、評価されるだろう。その時トランプは、何もしないでいられるだろうか。

別紙：北朝鮮今後の予想まとめ（インテリジェンスレポート 10 月号）

—非核化を進めているふりの北朝鮮、それを知って見ているトランプ—